

入院患者のうち薬剤管理指導を受けた割合

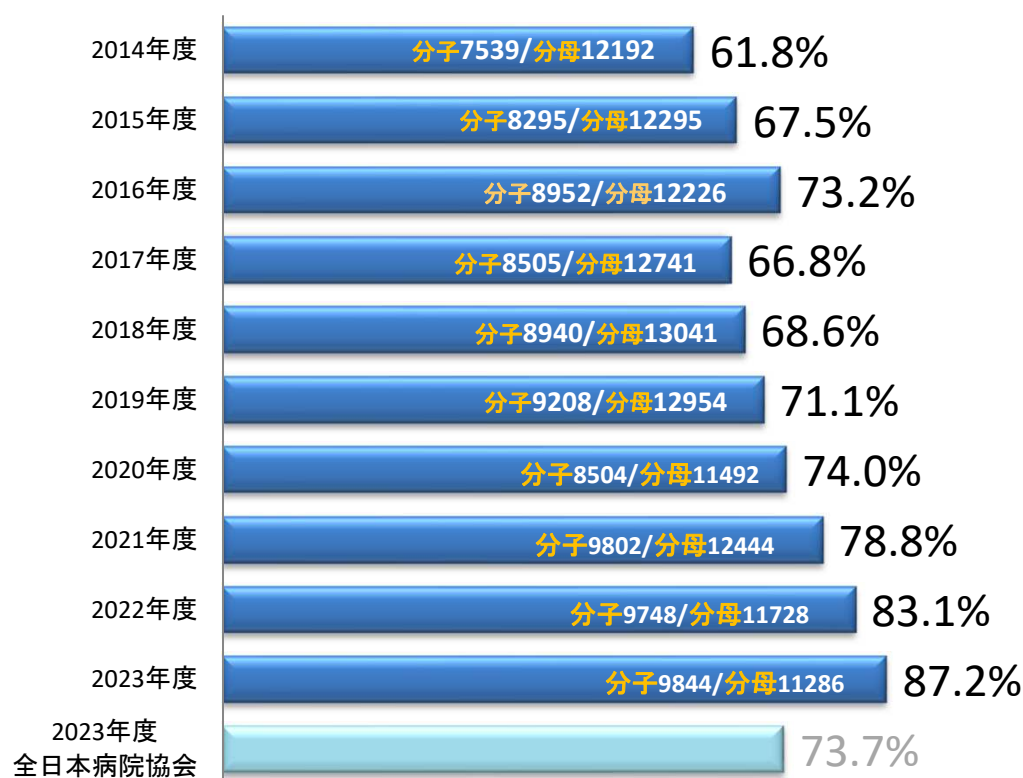
【指標の説明】

病棟薬剤師の行う業務には、患者の薬物治療の適正化、副作用モニター、持参薬チェック、服薬指導などがあります。特に服薬指導は、薬物治療への理解を促し、服薬コンプライアンスを高めます。薬剤管理指導を行うことは、服薬面から医療の質を向上させることにつながるため、本指標は医療の質を測る1つの目安となります。

【定義】

分子 分母のうち入院中に薬剤管理指導を行った患者数

分母 退院患者数（新生児科、産婦人科退院患者は除く）



全日本病院協会「2023年度診療アウトカム評価事業」より、40病院の平均。
この事業における「薬剤管理指導実施率」は、【分子】分母のうち薬剤管理指導を受けた患者数 【分母】入院患者数。
同じ算出方法にすると、当院2023年度は 86.1%（9867/11465）。